

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児通所施設 ひまわり五日市教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 12月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 12月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の利用児活動スペース等の空間が広い	・活動するスペースとお昼寝等の休息をするスペースを分けており、利用児状況に合わせた使い方をしている。 ・面積が広い分、たくさんの物品を置かないようにし、利用児が動くスペースには危険な物がないように整理整頓を心がけている。	・継続して整理整頓を心がけ、日々の感染防止のために環境整備を充分に行っていく。 ・常に危険予測を行い、利用児にとって安全な空間になるように努める。
2	地域との交流会の企画、開催をしている。	・月に1回地域の保育園を訪問し交流会を実施している。 ・保育園の夏祭りや運動会にも参加させてもらっている。 ・夏休みには園児さんを当教室へ招待し、一緒に療育活動を行う機会を設けている。	・地域の社会福祉協議会を訪問し、地域との交流を拡げられるように取り組んでいる。
3	茶話会や保護者会の開催をしている	・毎年イベントを企画し利用児、保護者、きょうだい児が参加できるイベントを開催している。	・現在のイベント企画と並行し、保護者同士の交流が持てるようなイベント等の企画に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・日によっては職員数が少ない日がある	・人員が不足すると予測される場合には、あらかじめ他の事業所から応援を呼ぶ体制はできている。急な欠員に対しての人員補充が難しい。	・利用児の安全を第一として考え、他事業所との人員のバランスを見ながら応援を依頼する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症心身障がい児通所施設 ひまわり五日市教室

公表日 令和7年 12月 17日

利用児童数 令和7年 12月 1日 17名

回収数 12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10			2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1	・こちらの希望も聞いていただきながらの支援をしていただき感謝しています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12				・利用日が交流の日の時、参加させていただきありがとうございます	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・家庭、デイ、学校間の共有がされていて、安心して通わせることができています	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1			・お楽しみ会や茶話会を開催していただき、その際他のご家族とも交流でき嬉しいです		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・いつもありがとうございます	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		重症心身障がい児通所施設 ひまわり五日市教室				公表日	令和7年 12月 17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・バギーを置くスペースもあり、子どもの過ごせるスペースと別になっている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5		・どちらとも言えない、人工呼吸器、発作が頻回に起こることもあり、看護職がもう少し増えたらもっとよい ・曜日によっては大変だと思っ日がある ・休日など食事介助が必要だとスタッフの人数が足りていないことも多い ・職員の数も毎日足りていない、マイナスで行っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・24時間換気されている。体調が悪くなった子の部屋もある		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日感染対策を考慮した清掃を行い翌日に備えている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・活動をしっかりとりたい児のスペース、感染発生時のスペースも取られている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・年間を通して色々な研修会、また問題発生時には一人ひとりの認識を確認し、業務改善PDCAサイクルは行われている	わからない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職種ごとに保護者の意見を把握し、どのように改善するかをすぐに対応している	どちらとも言えない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・責任者がよく情報のアンテナを持つとともに話しやすい。相談しやすい環境にあり日々改善できている	・現場の生の声を聴くことはしているが、その後の改善やどういった対応をするのか、返答がない	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		わからない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・定期的研修以外でもスタッフ個人の不安な看護ケアなど全員で話し合い、またレクチャー確認しあうことができている ・ジョブモデルや動画研修を行っている ・ジョブモデルは業務中にできない		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・保護者のニーズは口頭または連絡ノートや朝礼で伝達し、知らなかったという事はないように努力している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・スタッフ間の意見交換がとてもスムーズで、また優しいことを大切にしている ・職員全員できているとおもう		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・変更があった場合でもいろいろな伝達方法で共有することができている ・日常的に職員間で情報共有し、支援も行っている ・職員全員が共有できるようになっている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・朝礼、終礼、連絡ノート、口頭など色々な変更などを含めた標準化されたツールが明確にある		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・療育に関して児童指導員、リハビリスタッフ、看護師が楽しく一致団結して行っている		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・多職種がよく声を出し色々工夫してマンネリしていない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個々のできることまたできるかもしれないチャレンジなど考え支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・例えば外出する時など誰が〇〇君に付ききそう、車の座席の配置など、必ず自視で確認できるような形をとっている ・しっかり出来ていると思う	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・意見を出しやすく、またノートなどで共有している ・連絡ノートを使用したり、気づき、報告などを行ひみんなてほぼ共有できている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・必ずカルテに記載し記録している ・記録をしっかりとっており、振り返り改善に繋げることもできている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			わかりません
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1		わかりません
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・子どもの意思の表現を汲み取れるようしっかり理解し、その子にあった選択肢を提示できている	わかりません
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		わかりません
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校への送迎時に担任の先生に子どもの様子を詳しく聞いたりしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		・わかりません ・まだ卒業した事例がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		わかりません
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・保育園や高齢者との交流が1回/月はある ・地域の保育園との交流会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		わかりません
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時に気になる事などは家族にきちんと聞くように心がけている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・茶話会やお楽しみ会などの保護者交流の中で情報交換を行っている	わかりません	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個別に家族と話し合いを行っている ・定期的に面談を行っている 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回お楽しみ会などのイベントを行う事で保護者同士兄弟同士の交流を図っている 	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・きっぷノートでの配信だけではなく、どの家庭にも見て頂けるよう、お便りやインスタグラムなど、確認できる手段を複数行っている 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会福祉協議会との交流を持っている 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ1回/月でシミュレーションを行っている ・その都度保護者の方に訓練の報告やお知らせを行っている 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を行い、改善点などを話し合い、次につなげることができている 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・薬が増えたり減ったりする場合にはその都度ご家族より情報を得ている ・服薬に関しては薬情を見て毎回確認している 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・小麦アレルギーのある児に対してはそれ以外のもの（米粉）で対応している 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		わかりません
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・報告、伝達している 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブメドレーで研修している 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				